

謹賀新年



絵馬「乙巳」(石切劔箭神社)

十干十二支「乙巳」の「乙」は、植物が成長して広がっていく様子を意味することから、柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表している。また、「巳」は蛇を表し、古来より豊穰や金運を司る神様として祀られることもあり、神聖な生き物として認識されている。蛇はたくましい生命力があり、脱皮する度に表面の傷が治癒していくことから、医療・治療・再生のシンボルともされており、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されている。よって、「乙巳」はこれまでの努力や準備が身を結び始める年と言われている。

前回の「乙巳」は1965年、57カ月間続いたいざなぎ景気が始まった年で、民間設備投資に牽引され日本経済は大きく拡大し、世界第2の経済大国へと成長を遂げた。

また、この年は大阪万博の開催が正式決定した年でもあり、60年を経たこの度の「乙巳」では再び大阪・関西万博が開催される。万博開催に向けて準備を進める様々な人々の努力が身を結び、関西経済活性化につながることを祈念したい。